

大阪公立大学医学部附属病院

# 患者総合支援センター たより

より使いやすい環境をめざした取り組み

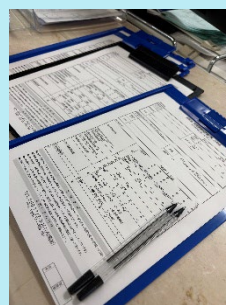
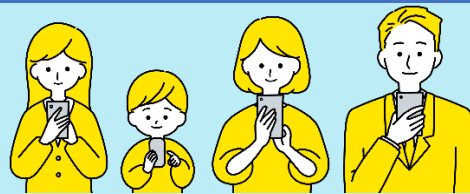
特集

## 診断書受付窓口と

## 予約変更センターの開設

患者さんの手続きをより **快適** に！

外来をより **効率的** に！



申し込み用紙



記載台



当院では、外来の円滑な運営を支えるため、診断書受付窓口と予約変更センターの2つの新しい窓口を開設しました。

どちらの取り組みも、診療科の負担軽減と、外来の流れを滞らせない仕組みづくりを目的としています。

また、こうした取り組みを重ねることで、より質の高い医療提供できるよう努めてまいります！

# 公大病院の新たな取り組みを紹介



## ● 診断書受付窓口の開設

12月より、これまで各診療科で個別に行っていた診断書や各種書類の受付・交付業務を、病院1階「22番窓口」に集約しました。書類の申し込みや受け渡しを一つの窓口で対応できるようになり、患者さんの動線が分かりやすくなったほか、診療科の窓口業務の負担軽減にもつながっています。診断書は患者さんにとって大切な文書であるため、受け渡しの際には氏名確認などを丁寧に行い、確実にお渡しできるよう取り組んでいます。窓口集約により外来の流れがよりスムーズになるよう、今後も運用を工夫してまいります。



## ● 予約変更センターの開設

1月から「予約変更センター」を開設し、患者さんの予約変更・キャンセルを**24時間365日**受け付けています。ご連絡には2営業日以内にショートメッセージで返信し、SMSでのやり取りにも対応しています。連休明けなど件数が増える時期でも、当日キャンセルなど急ぎの内容にできるだけ早く対応できるよう体制を整えています。また、内容に応じて看護師やDAと相談しながら調整するなど、多職種で支える仕組みになっています。外来がスムーズに進むよう、引き続きサポートしてまいります。

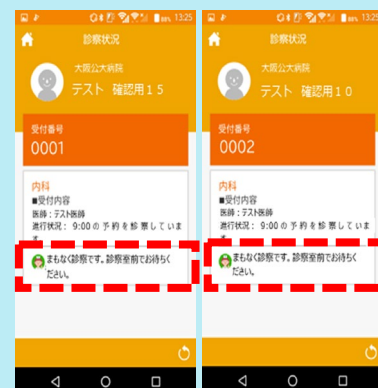
## 患者アプリを導入予定

患者の受診行動をスムーズにすることによる患者サービスの向上を目的とする。

アプリを利用することで、診察の順番が近づいたタイミングで通知を受け取ることができ、待ち時間を有効に活用していただけます。また、次回の予約内容もアプリ上から手軽に確認できるため、よりスムーズに受診いただけます。



患者アプリの流れ



画面イメージ

## 総合診療科の特色

発熱や関節痛、体重減少などの症状は、どの臓器が原因なのかよくわからない場合も少なくありません。当科では、受診すべき診療科がわからない患者さんから、他科でなかなか診断のつかない患者さん、症状が多岐にわたる患者さんの窓口として診療を行っています。

### 【受診患者さんの症状内訳】

症状	割合
発熱	30%
関節痛	10%
腹痛	10%
胸痛	5%
体重減少	5%
腰背部痛	5%
呼吸苦	5%
めまい	5%
その他	25%

## “病”ではなく、“人”を診る

患者さんの抱える健康問題は、必ずしも一つだけとは限らず、複数の病気を同時に抱えていたり、心理・社会的な問題の方が重要だったりする場合も多くなっています。当科では、患者さんの抱える様々な問題に対して、共感と受容をもって傾聴し、適切なケアが受けられるよう各専門科、かかりつけ医との連携をはかりながらじっくりと診療に取り組めます。



## 多彩なスペシャリティーを持ったスタッフ

一般内科・外科・呼吸器・消化器・感染症・整形外科・漢方診療の専門性を有した幅広いスタッフが連携を取りながら患者さんの対応を行っています。総合診療科をよろしくお願いいたします。

## 小児科・新生児科

小児科・新生児科はこどものすべての病気を取り扱うこどもの総合診療科です。  
いろいろな症状を多彩な専門スタッフで総合的な治療を行います。  
各専門外来では最新の医療を提供しています。

## 代謝外来（月）

（ ）：専門外来初診担当曜日

先天代謝異常症のアミノ酸代謝異常、脂質代謝異常、有機酸代謝異常症などの診断・治療をしています。ファブリー病、ゴーシェ病、ムコ多糖症などライソゾーム疾患への酵素補充療法などの治療をしています。

## 神経外来（水〔てんかんは月、水〕）

てんかんに対してビデオ脳波検査、脳磁図検査をし、てんかん焦点をより正確に同定しています。  
新生児マススクリーニングで陽性となった脊髄性筋萎縮症の遺伝子治療が実施可能です。

## 糖尿病外来（水、木）

1型糖尿病患者数とインスリンポンプ導入数は、国内随一で豊富です。

## 血液・腫瘍外来（金）

関連各科と連携し安全で高度な集学的治療を行っています。

## 循環器外来（月）（火）

先天性心疾患、川崎病の診断・治療を行っています。

## 新生児外来（火）（木）

NICUからの超低出生体重児のフォローアップを行っています。  
新生児の外科症例や・染色体異常・シナジス接種にも対応しています。

## ゲノム診療外来（火）

遺伝性疾患が疑われる疾患に対して遺伝子診断、認定遺伝カウンセラーによるカウンセリングを行っています。

## 小児医療センター（小児科病棟）

2020年秋に改修工事を行いました。  
看護師が患者さんを観察しやすく、  
異常の早期発見や迅速な対応が行  
えるよう病棟の半分をオープンス  
ペースな環境に改修しています。

お子様が安心して療養生活を過  
ごしていただけますように  
病院保育士もサポートいたします。



小児科連携ラインを再開しております

**06-6645-3177**

入院依頼や、お困りの患者様がございましたら、  
どうぞお気軽にご相談ください

# 次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

膠原病・リウマチ内科

消化器外科

## Face to Faceの会のご案内

今回は 令和8年3月7日（土）に開催します。

### 地域医療連絡室

月曜日～金曜日 9:00～19:00

電話：06-6645-2877

**FAX：06-6646-6215**

**URL：**[https://www.hosp.omu.ac.jp/  
health\\_professionals/area/area.html](https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html)

#### ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、  
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、  
診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や  
別添していただく診療情報提供書はできる限り  
詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。  
また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

**初診受付時間** : 8 : 45 ~ 10 : 30

**休診日** : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。